

所管課	環境共生部斎場整備課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策									
	第4章 安全安心都市			14 斎場・墓地			01 斎場施設の建替え整備を行う									
事業：市営斎場建替事業										整理番号	1193					
目的	現斎場は開設後三十数年を経過し、老朽化が進んでいる。また近年、火葬需要の増加や葬儀形態の多様化などから変化しつつあることなどから、ニーズの多様化に対応しうる効率的な施設機能を有し、安全かつ適正な運営を維持できる施設への建替えを行う。															
目標	市営斎場建替え及び周辺環境対策事業の実施。															
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		217,267		コスト情報・評価	総コスト(千円)		239,664		総合評価	B		妥当性	A		
	財源内訳	一般財源		51,410		内訳	事業費		217,267				効率性	A		
		国府支出金		18,557			人件費		22,218				有効性	B		
		地方債		147,300			公債費		179				斎場用地造成工事、市道整備工事、用地買収等、事業全体について、予定通り適性に実施できた。			
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		2,123							
							世帯あたり(円)		5,082							
貢献度		施策に対する事業貢献度		A		根拠		施策の根幹をなす事業であるから。								
今後の方向性	市営斎場建替事業、および市営斎場建替関連事業のいずれの事業も、平成28年度までには全て完成する予定となっている。よって、この年度目標を達成するため、各年度毎に計画された事業を着実に実施し、完了させていく。															

事業優先順位	1 細事業：市営斎場建替事業										整理番号	01	
目的	国定公園内にある施設として周辺環境に調和した景観とするとともに、火葬時間の短縮や排ガス処理対策など性能の向上を図り、施設のバリアフリー化や耐震化を図る。												
目標	平成28年度の建替事業の完成をめざし、本年度では用地取得を行うとともに現行施設を運営しながら、敷地造成整備及び既に用途廃止した施設の解体工事を行う。												
事業実施主体	直営	事業開始年	平成14年度	根拠法令	墓地・埋葬等に関する法律/都市計画法								
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		平成24年度	比較				
	財源内訳	一般財源		105,103			内訳	事業費					115,439
		国府支出金		26,703				人件費					105,103
		地方債		0				公債費					10,316
		その他特定財源		78,400				一人あたり(円)					20
				0				世帯あたり(円)					1,023
		0		職員数(人)		2,448							
		0		再任用職員数(人)		1.30							
		0				0.00							
今後の方向性	平成25年度以降も引き続き用地造成工事などを推進し、平成28年度の建替事業の完成をめざす。また、事業を推進していく中で、その計画内容を精査し、可能な限り事業費の抑制を図っていく。												
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民および斎場の使用許可を受けた者(利用者)								
	A	A	B										

事業：市営斎場建替事業

1. 市営斎場建替事業

市営斎場本体の建替事業については、まず斎場附帯施設の解体撤去工事を実施し、仮設道の設置、調整池の建設などの用地造成工事を実施した。また斎場建設に必要な用地の鑑定評価を実施し、それに基づき地権者と交渉を重ね、用地の取得を行った。

2. 市営斎場建替関連事業

市営斎場建替関連事業については、高瀬地区の浄化槽施設設置事業の一環として、汚水管渠布設工事を実施した。また市道高瀬天野線整備事業において橋梁下部工事を実施し、並行して道路建設に必要な用地の鑑定評価、及びその取得を行った。さらに地元自治会が使用する集会所の整備工事を実施するにあたり、地元との会合を重ね、その意向を確認した上で、設計業務を行った。

細事業：市営斎場建替事業

1. はじめに

市営斎場は開設から既に三十数年が経過しており、老朽化が進行している。さらに今後の火葬需要の増加や、葬儀形態の多様化など、新たなニーズに対応する必要にも迫られている。そこで、より効率的で安全安心な施設にすべく、現在、斎場建替事業を推進しているところであり、平成24年度においては、下記のとおり工事等を実施した。

(1) 市営斎場附帯施設解体撤去工事

斎場建設用地を確保するため、既存の煙突や機械棟などの斎場附帯施設の解体撤去工事を実施した。実施に際しては、事前にダイオキシン除去作業を行い、飛散防止と適正処理を行った。また、慰霊碑及び動物慰霊碑については移設により継続的な利用に配慮した。

(2) 市営斎場用地造成工事（その1）

市営斎場の用地造成工事として、河川への雨水の流量負担を軽減し、周辺地域の浸水被害を防ぐために必要な調整池、及び工事車両と斎場利用車両の輻輳を防止するための仮設道を設置した。

平成24年度主要工事

工 事 名	金 額 (円)	概 要
市営斎場附帯施設解体撤去工事	33,947,550 円	慰霊碑移設及び動物慰霊碑移設一式 煙突等解体撤去工事一式 等
市営斎場用地造成工事（その1）	65,410,800 円	土工、調整池工、排水工、撤去工、 仮設工 一式

(3) 市営斎場建替用地購入

新斎場を建設する上で新たに建設用地を取得する必要が生じたため、専門の鑑定業者に取得対象用地の鑑定評価を依頼した。またその鑑定額をもとに、地元地権者らと交渉し、用地の取得を実施した。

業 務 名	金 額 (円)	概 要
市営斎場建替用地購入	5,199,124 円	建替に伴う調整池等拡張用地取得費 取得面積 約 3,200 ㎡